Be サポートの主な活動

■相談・カウンセリング事業■
★カウンセリング・プレイセラピー・心理検査・発達検査（有料）など

■発達障害支援事業■
★子どもの育てにくさを感じている保護者とその児童のサポート活動「みつばち教室」

■医療・福祉・保健・教育機関への協力事業■
★静岡県精神保健支援センター　ひきこもり相談
★教育委員会の就学指導委員会・特別専門家会議（函南町）、特別支援教育巡回相談（伊豆市）
★各市町事業の発達相談（伊豆市、伊豆の国市、熱海市、清水町）　など

■企業・事業所への支援事業■
★メンタルヘルスカウンセリング業務委託の提携先の増加
★メンタルヘルス講話

■研修事業■
★会員、援助職対象の勉強会の開催「子どものそだち研修会」「東部心理アセスメント研究会」
★一般市民対象の講演会開催　（発達障害支援、不登校・ひきこもり支援）

■被災者支援活動■
★東日本大震災被災地から転居している方々のためのサポート活動「OHANA」

★★　今後の予定　★★

★　働く人のためのストレスマネージメント研修会
対象：企業の管理職・労務・総務担当者および一般の方々
内容：ストレスの基礎知識・気づきと対応・セルフマネージメントの方法・相談窓口の紹介など
料金：無料
時間：いずれも　木曜日　13:30～15:30
場所：富士会場　（富士市交流センター　会議室）　１月 23 日
三島会場　（三島市商工会議所　３階会議室）　１月 30 日
沼津会場　（サンウェルぬまづ　大会議室）　２月 20 日
伊豆会場　（伊豆市いきいきプラザ　第２会議室）　２月 27 日
御殿場会場（御殿場市民会館　視聴覚室）　３月　６日

★　春休み OHANA 学校
東日本大震災後、静岡県東部地区で生活しているご家族のサポート活動「OHANA」では、学校の長期休暇の期間、お子さんをお預かりする事業を始めました。春休み期間も開催します。
期間：３月 20 日（木）～4 月４日（金）（土日を除く）
時間：9:00～16:00
場所：当法人施設「みつばち」

新規会員募集

日頃よりＢｅサポートへの支援をありがとうございます。当団体では、事業に協力していただける方を募集しています。
子どもと遊ぶのが大好きな方、学習や余暇活動、また、子どもと遊ぶ年齢ではなくなったけれど、こういうことができる・・・などなど。お手伝いをしていただける方は、気軽にご連絡いただけると嬉しいです。

会員動向（2013 年 11 月末時点）

正会員　49 名・賛助会員　13 名
７名の方が仲間に加わりました

助成・寄贈ありがとうございます

★**会員　栗原様より**　冷風器・ホットカーペット等物品
斉藤様より　掃除機等物品

★「OHANA」に対して
・**静岡県共同募金会様より**
「NHK 歳末たすけあい年末年始支援活動助成」
・**一般財団法人地域創造基金みやぎ様より**
「フクシマススム　プロジェクト
福島子ども支援 NPO 助成」

★**NPO イーパーツ様より**
「リユース PC 寄贈プログラム」にてパソコン１台

編集後記

最後までお読みくださり、ありがとうございました。早いもので Be サポート（略して Be サポ）が設立されて３回目のお正月を迎えることとなりました。
これからも利用者の方や会員の皆さま、各関係機関の方々が読んで楽しく、かつ興味を引くような会報誌を作っていきたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人　臨床心理オフィス　Be サポート

クローバー通信

2014 年 1 月 1 日発行　Vol.4

Beサポート
〒410-0056
沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel&Fax　055-925-1701
E-mail　be-sapo@mail.wbs.ne.jp
URL　http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川　行寛

年頭のごあいさつ

理事長　皆川　行寛

明けましておめでとうございます。皆様にとって本年がよい年になりすよう、心から祈念いたします。
Be サポートは今年５月で４年目を迎えます。僅かずつですが法人の規模も大きくなり、様々な活動に会員の皆様にご協力いただき、大変感謝しております。開設当初より、３ 年間は本格始動の準備期間と考えて事業を進めて参りました。おかげさまで、心理カウンセリングや心理検査の件数は着実に増加しています。又、静岡県の補助金事業をはじめとして函南町、伊豆市、伊豆の国市、裾野市、沼津市、伊東市などの委託事業なども増えました。事業所・職場むけのメンタルヘルスサービスとしては、個別カウンセリング、研修会の依頼をご紹介いただくようになり、地域の保健、福祉、教育に少しお役に立てるようになってきたと自負しております。
東日本大震災による避難者への支援活動「OHANA」については、交流活動、無料相談に加え、新たに子どもの長期休みの預かり事業を開始しました。これは避難地域で仕事を始めた保護者の負担を減らすこと、震災の影響と思われる子どもの学習面の遅れを取り戻すことを目的に始めたものです。この事業についてはご要望がある限り続けていきたいと強い気持ちでおります。
発達障害児支援事業に関しては、昨年中に必要な研修を受け、現在、相談支援事業所（一般相談支援・障害児相談支援）と障害児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援）の開設にむけて申請準備をしているところです。本年度中には是非とも開設したいと考えています。開設後も、スタッフの教育研修、ケース研究を重ね、アセスメント力（評価）や対応力（療育）にさらに磨きをかけることが望まれます。そして将来的には家族交流会にも力を注ぎ、子ども、家族に寄り添った支援を目指していきたいと思っています。
今年は「NPO 法人臨床心理オフィス Be サポート」の基盤作りの仕上げの年にしなくてはならない年、勝負の年だと思っています。スタッフ一同を代表して「今年将来の発展がかかっている」という強い気持ちを表明して新年の抱負にしたいと思います。

子どものそだち研修会より「ケータイ安全教室」

当団体が定期的に行っている研修会の一つに「子どものそだち研修会」があります。毎月１回、主にスクールカウンセラーなど、子どもの支援に携わっている会員などを対象に事例検討会や学会誌の抄読などを行っています。
８月は夏休みの期間であり、子どもたちが学校の制約から外れやすい時期でもあります。そのため、インターネットや携帯電話などに触れる機会も多くなります。８月の研修会は、その危険性について、外部講師による講習会を行いました。
スマートフォンは小さなパソコンであり、ウィルス対策や迷惑メールへ対応をきちんとしないと、個人情報が漏えいし、所有者だけでなく、他の人にも迷惑をかけることなどいろいろな危険性が潜んでいることがわかりました。
また、小学生に人気のあるゲーム機で簡単に通信ができることに、多くの参加者が驚いていました。子どもたちは常にインターネット上で個人情報の漏えいの危険にさらされていることを大人たちは認識して、子どもに与えるべきだと思いました。